

【野外活動】

活動名							
<b>冒険の森（①～⑧ ⑰コース）</b>							
概要	○冒険の森にあるアスレチックを順に挑戦し、コースを回る。（幼児が行う時に向く）						
ねらい	○お互いに声をかけ合ったり、励まし合ったりする中で、仲間意識を高める。 ○様々なアスレチックを乗り越える中で、気力、体力、判断力を養う。 ○森の中の動植物を観察しながら歩くことで自然とのふれあいを深める。						
関連教科等	体育・理科・道徳・総合						
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う						
時期	通年	時間帯	日中		対象	幼児～	
場所	冒険の森コース	人数	～200人程度 (～10人程度/1グループ)		所要時間	1～1.5時間	
準備物	施設で準備できるもの			団体・個人で準備するもの			
	トランシーバー 熊鈴 ヘルメット 冒険の森コース資料（指導者用）			野外活動に適した服装 (帽子, 長袖シャツ, 長ズボン)			
<b>進め方・展開例</b>							
<b>内容</b>				<b>留意点</b>			
活動前	○打ち合わせを行う。 ・実施の判断 ・ねらいの確認 ・物品の受け渡し（準備物参照）				○荒天時は相談の上、実施判断をする。 ○自主活動で実施の場合は、活動の進め方を確認する。		
活動の説明	○動物の絵の標識をたどる。 ○危険な動植物を知る。  ○トイレは第1炊飯場（ゴール地点）なので事前に済ませておく。				○事故が発生した場合には、近くにいる指導者に連絡がとれる体制をつくっておく。 ○グループ内で「協力」など実施上のねらいをおさえておく。 ○「ウサギ」「カメ」「タヌキ」「キツネ」「サル」の絵の標識をたどることを確認する。 ○ウルシ、ハゼ、マダニ、マムシ、スズメバチ、クマ等について注意するよう確認する。 ○活動は、落ち着いて行動し、前のグループを追い越すことのないように約束させる。 ○首からかけるようなもの（水筒等）は持たせない。 ○着用することですべるため、軍手は着用しない。		
展開	○グループごとに出発する。 ○グループで協力し合いながら進む。  ○グループでまとまってゴールする。				○3～10分ごとにグループのみんなが一緒になって出発するようにさせる。 ○近道の洞窟は事前にマムシ等の確認をする。 ○研修中、トランシーバーを使い指導者同士の連絡をとる。また、事故発生時は、事務室へ連絡を入れる。 ○冒険心だけをあおらずに野外の自然にもしっかりふれさせたい。 ○原野からのトンボがえりは、実施中にロープをゆらさないようにさせる。		
まとめ	○グループまたは全体で、どんなところが楽しかったか、また難しかったかなどを発表する。 ○グループ内でどのようながんばりや発見、協力がみられたか発表する。						
評価	○互いに声を掛け、認め合い励まし合いながら活動できたか。 ○最後まであきらめずに挑戦することができたか。 ○木や草花などの自然に目を向けることができたか。						
発展	○コースを回る中でねらいに応じた活動を取り入れることも可能。（ネイチャーゲームなど）						










# 冒険の森案内図(①～⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑)

**【コースのご案内】**  
 『地図の**緑色マーカー**のコース』  
 ①～⑧⇒(ショートカット)⇒⑩  
 ※「⑨谷越え」のすぐ手前を、  
 左に曲がって道なりに進んで  
 「⑩原野からのトンボがえり」ま  
 でショートカットするコースです。  
 緑色マーカーのコースを道なり  
 に進めば、短時間で戻ってこれ  
 ます。

**緊急連絡先** 少年自然の家  
 TEL 0855(52)0716

絵の標識を  
 たどりなが  
 ら進みます。

## <説明事項一覧>

- 冒険の森ショートコース 
  - ←※左記内容も要確認!(約1km・約1～1.5時間)
- 1. 看板  **◎追跡サイン** 
- 2. 指導者配置場所   
- 3. 水分補給について 
  - ・水筒持込不可・スタート時に補給してください。
  - ・第1炊飯場に冷水機があります。
- 4. トイレは、第1炊飯場にあります。 
- 5. AEDは、第1炊飯場と事務室にあります。 
- 6. 服装について
  - ・原則は帽子・ヘルメット着用、長そで長ズボンが望ましいです。
  - ・リュック・水筒等の荷物は持って入らないでください。
  - ・軍手も滑りやすいので不要です。(※事故防止の為)
- 7. 危険な動植物について
  - ・マムシ&スズメバチ …静かにその場を離れましょう。
  - ・マダニ …虫よけ対策をし草むらに入らないようにしましょう。
  - ・クマ …音をなしたり声を出したりして出会わないようにしましょう。みんなで一緒に行動しましょう。
  - ・ハゼノキ
  - ・ヤマウルシ
  - ・ツタウルシ



コース内のかぶれる樹木には黄色いテープがつけてあります。  
 コースを外れると危険な植物があるのでコース外に入らないようにしてください。

8. トランシーバーの通信が届きにくい場所もあります。  
 途中で中継するなどして、本部との連絡を取ってください。





14 山越え  
(オオクニヌシに逢いに)



12 林間への抜け穴



9 谷越え  
(木の国)  
[指導者配置が望ましい]



15 蛇の巣へ



13 クモの巣渡り



11 丸太越え (根の国へ)



10 追いかかけ坂  
[指導者配置が望ましい]

⑨手前を左折



岩くだり



16 ムカデ橋登り



17 原野からのトンボがえり  
[指導者配置が望ましい]



18 出雲国のやしほ



山びこ岩

⑩ゴール地点を左折



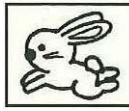
根性の木



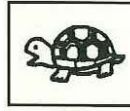
おろち迷路

# 自然とのふれあい 冒険の森コース

## ◎追跡サイン



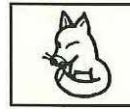
ウサギ



カメ



タヌキ



キツネ



サル



7 丘越え  
(木の国へ脱出)  
[指導者配置が望ましい]



8 尾根飛び (木の国へ)



5 幸せの岩



6 大木での危機  
※網の内側を伝って下りましょう。



3 赤猪岩下り  
※雨でぬれている時は、すべりますので、使えません。



4 近道の洞窟  
[マムシ等の事前確認]



2 ワニの背渡り



一越岩



1 因幡の国へ出発



20 国造りへの歩み



19 出雲国への路



ゴール (友情の丘)



21 明日へのジャンプ



あずまや

つどいの  
広場

創作棟

体育館

活動  
センター



スタート



案内板